

# 曹洞宗中国管区 教化センターだより

## 平成十五年度 布教教化方針

正法の興隆と曹洞禪の宣揚を願  
い、信仰心の確立を促し、教化施  
策として、「人権・平和・環境」  
をその柱とし、「まごころに生き  
る」仏道修行の展開を図るため、  
次のごとく、布教方針を定める。

- 一、仏法僧の三宝に帰依し、一仏  
両祖を奉祀して、宗門の教え  
を学び、仏教徒としての正し  
い信仰心を育む。
- 二、本尊唱名「南無釈迦牟尼仏」  
の敷衍をはかる。
- 三、一人ひとりの人権を尊重する  
とともに、あらゆる差別の撤  
廃のため啓発教化に取り組む。



### 曹洞宗宗歌

大内青巒 作詞

花の晨に 片微笑み

雪の夕に 臂を断ち

代々に伝うる 道はしも

余処に比ば あら磯の

波も得寄せぬ 高巖に

かきもつべき 法ならばこそ

「今年の親子ゼンインサマーセミナー会場：鳥取県大山」

- 四、戦争の惨禍と自省を忘れるこ  
となく、いのちの尊厳を自覚  
し、世界平和の実現に向けて  
さらなる努力をする。
- 五、自然の恩恵に感謝し、環境と  
の調和につとめ、もののいの  
ちを生かし合い、自然と共に  
生きていく生活を営む。
- 六、授戒会修行を奨励し、生前受  
戒をすすめる。
- 七、禅の国際的高揚に応え、国際  
社会における布教教化の充実  
発展を図る。
- 八、教義の実践である菩薩行とし  
てのボランティア活動を推進  
する。

《発行所》  
曹洞宗中国管区教化センター  
〒722-0033尾道市東土堂町17-29  
TEL.0848-25-2855  
FAX.0848-25-4148  
心の電話：0848-25-2860

《印刷所》  
プリントショップ・イトウ  
TEL & FAX.084-926-2304

目次	
・管区長退任・就任あいさつ	2
・宗務所長就任あいさつ	4
・統監あいさつ	5
・布教協議会・講習会	6
・誌上法話	7
・サマーセミナー	8
・禅をさく会	9
・青少年教化指導者研修会	10
・婦人会	11
	12
	13
	14
	15

# 管区長退任のご挨拶

島根県第2宗務所長

川瀬信夫



三瓶山の麓に山菜の芽がふく頃となりました。管内ご寺院各尊董老師には益々ご清祥の事と拝察し、お慶び申し上げます。さて、二年間の管区長の責務を無事に終えさせていただきましたことは、偏に統監老師、各宗務所長老師を始め多くの関係各位の絶大なるご法愛の賜物と衷心より感謝し、厚くお礼申し上げます。

顧みますに、この二年間は管区の行事、高祖道元禪師七百五十回大遠忌予修法要会場、本山参拝、本庁教学部主催による葬儀に関するフォーラム、宗務所行事と数多くの諸行事が重なり宗務所役職員、教区長さん共々些かの疲れを感じられたのも事実です。

諸行事の中で、特に平成十三年十月十七日益田市で五十年に一度の管区高祖道元禪師の大遠忌予修法要というご勝縁に遇い得て、盛大且つ厳肅裡に円成させて頂くことができました。施設等色々不十分な点が多々ありましたが、宗務庁、ご本山、管内の各宗務所・教化センターの役職員の皆様、当宗務所の各ご寺院、檀信徒等関係各位のご協力、ご支援に負うものと幾重にも衷心より感謝申し上げます。

私自身、振り返って見る時、管区の決まった諸行事をこなしていくだけが精一杯で何も目新しい事もできず、力不足の感のみ残り悔悟の念を禁じ得ません。

些か手前味噌になりますが、大遠忌等の大行事が無事円成しました事も、六名という少ない宗務所役職員と教区長、曹青会員の皆さん方が「寝ても覚めても道元禪師様」を合言葉に一丸となり、献身的な支えがあつたならばこそと思っております。皆様のお陰を痛感した次第です、

願わくは、新進気鋭の若き吉川新管区長の下で、管区集会の在り方、現在宗門が抱えている諸問題を管区長会等で進言して頂き、新しい息吹を感じさせるようご期待して、私の退任のご挨拶とさせていただきます。

# 管区長に就任して

山口県宗務所長

吉川俊雄



川瀬管区長様の後を引き継ぎ、管区長の任を勤めることとなりました。所長就任と同時にいうこともあり、二重の任に不安はありますが、皆様方のご助力の許で無事に遂行できればと念じるところです。

中国管区全体での行事は管区集会、人權など、当然限られたものになりますが、それぞれの会合では、受講することにとどまらず、自由に意見を語り合う時間を極力持つていきたいと存じます。そして、管区センターと管区の二重性のなか、整合を図りどのように活動を棲み分けしていくかを考えていかなければならないと感じます。

日本の地方行政は、行政改革の名の下で、合併が加速度的に進んでいます。あらゆる意味で地方と都市との断層もまた際立ってきているといえます。そして、寺院の在り方についても、いかに存続していくかという深刻な課題までもがすでに目前にまで迫ってきています。

ひとつの教団がどのようにしてこの教えの地盤を維持していくかという点からも、あらゆる智慧を出し合っ一緒に考えていかなければならないときです。それは、すべての寺院の生き残りにかかってくると思います。

最後に、「教化」という言葉は私たちの根本的な使命であります。教化が外に向かう力であるのに対し、内に向かう、後継者問題に及ぶところの「教育」も重要であります。いま、一人でも二人でも新たな僧宝を陶冶してゆくことが教団にとってもっとも急務なことである、と考えます。

東南アジアでは、いわゆる「開発(かいほつ)僧」と呼ばれる上座部僧が戒律を超えて自らの手に鋤を取り田畑を耕し、地域をそして人々の心を開発していると聞きます。

この管区も、「教化」と「教育」の両輪で、または、「布施」「愛語」「利行」「同事」の四輪で社会を、教団を開発してゆくべく、お互いの力と智慧を結集できる場になればと切に思うところです。

二年間、よろしくご指導を願います。

# 宗務所長就任のご挨拶



岡山県宗務所  
和氣弘宗

孔子の文言に「老ゆるに及びては血氣既に衰う、これを戒むるに得にあり」と又礼記には「七十にして事を致す」とあります。人生七〇才を向えると正義感が衰え世間を甘く見るようになるので何事も控えめにしたほうがよいと論じています。時代は大きく変わり環境も異なる現代ではありますが、私もそろそろそんな年頃になったかと思うころ……全国宗務所長の改選に伴い県内諸老師の強い推薦を受けて凶らずもその重責を担うこととなりました。

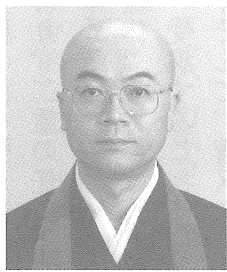
もとより「学」「行」共に道は遠く不徳の身であることは承知のところでありますが、「学ばざれば便ち老いて衰う」日々心を新たにしていって任務を遂行したいと思っています。現今、「人間の生きざま」が深刻な社会

問題となつてまいりました。

信教の自由が宗教離れを誘発し、公的には宗教が敬遠され、苦しむ者は目先の利益を求めている。

今、宗教者に求められるものは何か、これを思う時、高い理想のみに生きるわけには行かない。広く人々の日常生活に解け込み、文明の狭間に生み出された心の葛藤、不安、孤独、この救済こそが急務であると思われれます。

宗祖の尊い御教を今の時代に即応して活かすため微力ではありますが努力する覚悟であります。



広島県宗務所  
鈴木章純

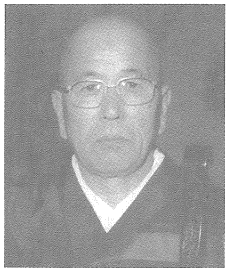
昨年の宗務所長改選で、再びこの任に当たることになりました。教化センターや管内の宗務所とも一層連携を密にし、宗務行政に取り組む所存です。何卒宜し

くお願い申し上げます。

ここ数年、高祖大師大遠忌という一大行事のために、全国の寺檀が総力を結集し報恩の誠を捧げました。申すまでもなく、檀信徒に対する宗風昂揚の絶好の場でもありました。しかし、今後暫くは大行事も無く、『慕古心』のテーマで燃焼してきたエネルギーをどう活用するか、宗門の課題でもあります。

現今、世界情勢の危機や長期不況、社会環境の悪化などと生活が脅かされ、ストレスに満ちた人が確実に増えています。私たちの宗派・宗侶は、社会に対して何が出来るのか。

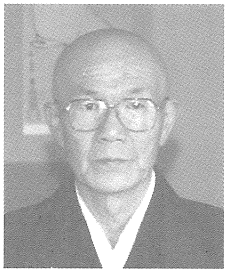
こんな時にこそ、曹洞宗の原点とも言える『普勧坐禅儀』の御趣旨に戻り、一人でも多くの人に坐禅を勧めようではありませんか。広島市近辺では、約半数の寺院が坐禅会を催し、一般参禅者を受け入れています。参加者の中には、開催日の違ってお寺を順に回り、坐を重ねている人もいます。檀信徒のみならず、一般市民に正伝の仏法を伝える大切な機会とあります。



鳥取県宗務所  
小原大忍

改歳の令辰、管内諸老師、御山内、御寺族皆様の御清祥と万福多幸を祈念申し上げます。不肖、昨年十二月、倉瀧真清所長老師御勇退の後継として、所長に就任させて頂きました。幾多の宗政課題を抱える重要な時期であり、宗務所長としての責任の重大さを身に染みて感じております。もとより浅学菲才で抱負経綸もない身ではありますが、驚馬に鞭打ち専心この職責を果たす所存であります。今後ともよろしく御庇蔭を賜りますようお願いいたします。

顧みますれば、八年前、副所長として勤めさせて頂きましたが、何のお役にも立たず荏苒月日を過ごして参りましたことに内心忸怩たるものを感じているような次第であります。幸い所内スタッフは多年にわたる刎頸の交りで常に私が尊敬と信頼をしておる方ばかりで、豊富な経験と卓越した識見の持ち主ばかりで、それぞれに、安心しておまかせ出来ることを大変嬉しく思っております。なにとぞ、



鳥根県第二宗務所  
千葉哲雄

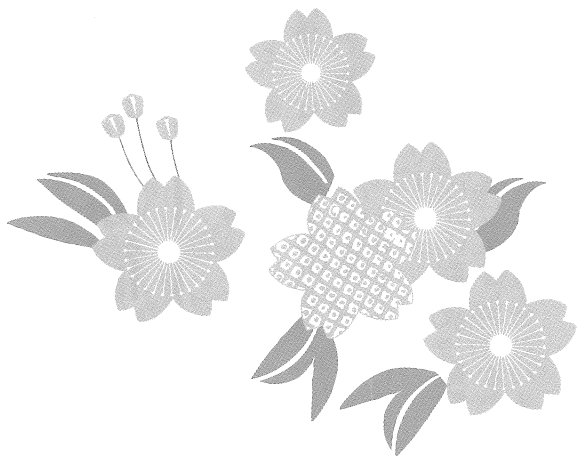
私ともども御指導御鞭撻を賜りますようお願いいたします。先ずは書面を借りて就任の御挨拶とさせていただきます。

全国宗務所長任期満了改選にあたり、前所長佐瀬道淳老師に管内寺院拳つて続投を懇願いたしました。今期は辞意殊の外固く、数多の業績を残しつつ旧冬十二月十日二期八年でその任を退かれました。前所長老師ご在任中、高祖道元禪師ご生誕八百年慶讃の中国管区檀信徒集会、七百五十回大遠忌予修法要、ご正当大遠忌宗務所団体参拝等の大行事をはじめとする諸行事、事業の連続で、ご労苦も大変と推察しておりましたが、総て盛大裡に円成へと導かれましたことに衷心より敬意を表する次第であります。

佐瀬前所長の下で副所長を勤めさせて頂いた故を以ってか、管内諸老師のご推挙を賜り、不肖私こと所長の任にあたることと相成りました。所長の重責を

担うには聊か荷が重く、その器に非ざることは自認いたしておりますが、この上は不徳非力ながら、宗務所役職員の協力を得て、誠心誠意宗務所行政実務に精進いたす所存であります。

中国管区教化センター統監老師・役員老師、管内各宗務所長老師をはじめ各管内諸老師、宗務所役職員老師の越格のご指導ご法情賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。



統監挨拶

# 謹而言上

光善寺住職 松原徹心



大遠忌の平成十四年度が、管区長老師をはじめ各所長老師並に役職員・関係各老師皆々様の御道情に扶けられ無事につとまりました。小職等は本当に有難い勝縁に恵まれたことと、深く肝銘しております。

両祖さまの法孫として、共に頂いた法悦を喜捨行へ転ずる日々が、更なる報恩に他ありません。お示しの「慕古心」の養生を不可欠の道念として、精進させていただきましよう。蛇足ながら申し添えます。

※ ※ ※  
いま世界の注目はアメリカが発動したイラク攻撃と、それに派生する諸問題ではないでしょうか。

※ ※ ※  
両者は、主たる神の前に正義者を装い、相方が主張し続ける確執は、まさに怨の積み重ねであると思われまます。

※ ※ ※  
多民族が国家を形成するに、民主主義が実を結びました。これは、見事と驚く事がありますが、常に勝者(多数)が正で、敗者

(少数)が悪という図式は解せません。しかし、こうしたアメリカ的の「あたりまえ」が、わが国にも影を落し現実足下まで来ているのです。

※ ※ ※  
九・一一のテロ事件に起こった国民感情と国連を無視したようなアメリカの常套を、日本の仏教徒はどの様に受け止め、また寺院僧侶は反応しているのでしょうか。

※ ※ ※  
今こそ、声を大にして「いのちの平等」(諸法無我)・「縁起」(因果応報)を正しく伝える布教の時であると思います。加えて宗侶は、宗旨の「只管打坐」を高揚し身に究めなければなりません。

※ ※ ※  
何故いま坐禅なのか、承当する両祖さまの坐禅は諸仏の坐禅であります。この諸仏の坐禅には「衆生一切(有情非情)のしあわせ」が、念われてあることを悟入し、敷衍すべきです。

※ ※ ※  
今の柔軟心が養われれば自浄其意、即ち自ずと念い(いのり)が波動となります。今わが国の「あたりまえ」が混迷しているせいか、衆生は「癒」を探しておりますことをご存知でしょうか。

※ ※ ※  
このことは各アンケートに見られ、小職が実施した小アンケートには「お坊さんには

気がつきませんか、お寺は何をしているのですか」と、返ってきました。

※ ※ ※  
三界の大導師と世にいますが、貴僧は望むお坊さまらしい癒しを発信しているかといま問われているのであります。

※ ※ ※  
宗侶には、他国の「あたりまえ」(塵境)に左右されず、自家の坐禅に安住する底の風光が、望まれる根にあるようです。

※ ※ ※  
「武蔵」を著した吉川英治氏は、「わたしの中に居る母親を悲しませないように……これが私の生きる心情です」と。

※ ※ ※  
両祖の法孫は「慕古心」を如何に受用するか、いま一度自己に問い。財の力や多数の魔性にまごわされず、東西南北の風を不問・平等に般若が談じられますように。

※ ※ ※  
お互い宗侶が帰一する宗旨に背を向けて、何が得られますか、日々宗旨を指向し行じてこそ、自ら教義が生かされるのではないのでしょうか。

※ ※ ※  
自恣を以って、年度初めにご免。 拝上

平成十四年度

# センター布教協議会・講習会

広島県福山市備後ハイツ



現代の布教について  
大田 大穰 老師

去る平成十四年九月十二日、十三日の両日にわたり、福山市の宿泊施設「備後ハイツ」で管区布教協議会が開催され、管内より七十名弱の宗侶が参集した。講師は皓台寺専門僧堂堂頭 大田大穰老師、教化センター統監松原徹心老師が勤められ、私が人権学習を担当した。

松原統監老師は「八大人覺」を主題に、澄んだお声と物静かなご口調ながら鋭く、禅の感性を説かれ、きらりと光る眼鏡と

澄んだ眼で聴衆を吸い込み、実に法話全体が一種僧堂での坐禅中の提唱であるかの如き雰囲気醸し出された。誠に行に裏打ちされた方の法話とはこれ程までに荘重なるものかと唯々恐れ入るばかりであった。

一方、大田老師は松原老師とは違って実に福よかなご法体で、お顔にしてもお声にしても同じく福よかさが漂って、聞く側の心も思わず和やかな気分になせられる。正に体全体でもって仏法を体現しておられ、例えば「魚は骨が最高に美味しい、梅干しは種が一番旨い」という様な譬えは、老師のお姿と相まって実に説得力を持つて来るのであった。成程法話というのは口だけではない、体全体から発散されるエネルギーでもって説いて行くべきものであると実感した次第である。

さてこのお二人の講師である老大宗師と並んで紹介されるのであるから人権主事も緊張で汗顔の至りである。今回の人権学習はビデオ学習が良いと思ひ、熊本

広島県宗務所

人権擁護推進主事

栗原

孝道

朝日放送制作の「ハンセン病―家族と引き裂かれて―」を見た。ハンセン病については宗議会において謝罪と人権回復のための啓発活動に尽力することの決議がなされている。その中で述べられている通り、宗門では一度として患者の方々の立場に立つて国の「非人道的政策」に異議を唱えたことはなく、寧ろ「悪しき業論」の布教によって国民意識の中に偏見と差別意識を助長して来た事実が有る。真摯に反省し今後の学習につなげたい。

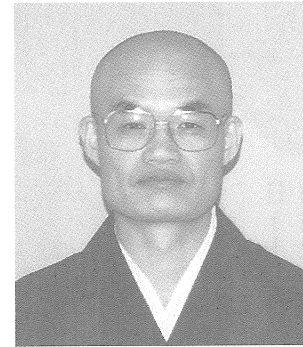


話 法 上 誌

即身是仏

●島根県 宝隆寺住職

和田 善明



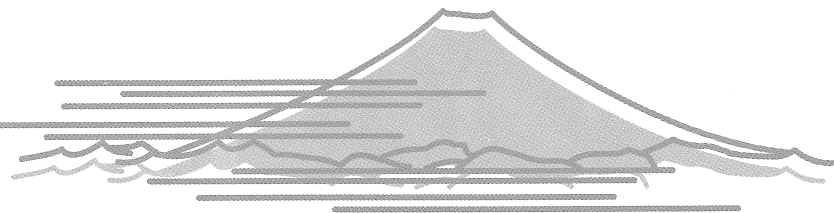
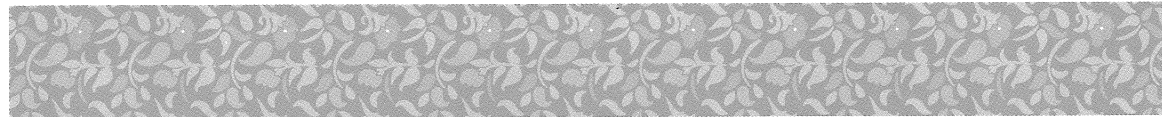
曹洞宗の宗旨は「仏祖単伝の正法に遵い、只管打坐、即身是仏を承当する」と示されています。

私の仏教を学ぶ原点は、この「即身是仏」です。大学の卒業論文が馬祖道一禅師の研究で、その中心となる思想が「平常心是道」であり、「即身是仏」あるいは「即身即仏」であったからです。大学の卒論では分かったつもりで書きましたが、実際にはよく理解してはおりませんでした。

道元禅師の御一生の中で一番重要な契機は、「本来本法性、天然自性心」ならば何故に発心・修行をする必要があるのか、と

いう大疑問を發されたことであろうと思います。この疑問と「即心是仏」は連動しているように思います。

「即心是仏」は馬祖禅師が言い始め、「平常心是道」と共に、禅が生活の中に入り込む転機となつた言葉だと言えます。あたりまえの心が即ちそのまま仏さまの道である、という意味でしょう。ただし、そこに留まっていると「本来本法性、天然自性心」だから、修行はいらないということになりかねません。その当時からその傾向はあつたようです。そこで、馬祖禅師は「心非仏」といって、これを否定しました。大学の時は、この「非



心非仏」がほとんど分かりませんでした。

大学を終えて永平寺に上り、当時の単頭老師から、『金剛般若波羅蜜多經』の講義を聞きま

した。そこでは「空」の思想が、「空」という言葉を使わず「即非是名」の論理で表されています。「般若波羅蜜は、即ち般若波羅蜜と名づく」というものです。

最初と最後の「般若波羅蜜」は言葉は同じですが、意味はまるで違います。ものごとはいったん否定し、それを乗り越えたときに、真実の相が現れるのです。

ところが、私たちの生活を見ると、ものごとを表面的に受け取っていることが非常に多いような気がします。特に西洋から学んだ考え方にそれが多いいと思います。「個性」とか「自由」などは、たしかに大切にしなければなりません。しかし、いったんはそれを疑問に思い否定的

に考えてみなければ、本当の「個性」も「自由」も分ならず、単なる「わがまま」に終わってしまいます。

昔は人は型にはまり個性がないと思われていますが、実際には今よりずっと個性的な人が多かったように思います。没個性の中から、個性が生まれるのかもしれません。没個性の意味では没個性で不自由な修行だといえます。しかしそこを經てはじめて、個性のある自由な考え方が生まれてくるのです。

今の自分で本当にいいのだろうかと思ひ反省をし、自己究明していくのが「即身是仏を承当する」禅の生き方であり、大遠忌の「慕古」につながっていくのだと思います。

第18回

# 親子ゼンインサマーセミナー

Summer Seminar 2002



S・Kくん(鎌倉小3年)のひらひら

指導員 栗原 昭顕

セミナーで小さな本をもらったよ。  
 題名は「<sup>ばくしゅう</sup>麦秋」だって。かんたんそ  
 うな文章だったし、ちよつと読んでみ  
 たんだ。

「麦秋」って意味がわかったよ。少  
 しエラクなったから、今度学校に行っ  
 たらクラスの友達に教えてやるんだ。  
 ん？まだ読んでない？短いしおもしろ  
 いから読んでみるよ。  
 えとね、この本の中で一番大切なと  
 ころは、お父さんが言った、「年をと  
 った麦は若い稲に、自分のすがたを見  
 せて、年をとるってゆたかなことだよ  
 って教えているんだろうね。」ってと  
 こだよ。

フッフ、言われなくてもりっぱな大  
 人になるから、まあ、見てよ。  
 でもねえ、大人といえはぼくたち三  
 班の先生で、広島から来た栗原ってお  
 坊さんがいるんだけどね、ハッキリい  
 ってあんなふうには年をとりたくないよ。  
 え？どうしてかって？

ツルツルのハゲ頭がおもしろそうだ  
 から、さわろうとしたらすぐおこる  
 んだよ。靴をそろえて脱げってうるさ  
 いし。おまけに部屋の中ではおならす

るし、もう最低。ありや絶対モテないね。  
 プールの時間は、泳ぎもしないでひと  
 りでゲラゲラ笑ってたよ。ホント、ヘ  
 ンなの。

ほかの大人の人たちも、そういえば  
 へん。

ひろ先生は、阪神の話ばかりする  
 んだよ。キャンドルサーピスの時は、  
 お坊さんがたくさんノリノリでおどって、  
 すごい人気でワケわかんないよ。そう  
 そう、栗原先生はお化粧してたんだよ、  
 火の使いだって。キモチわるいつての、  
 わかんないのかな。お坊さんで一番え  
 らい松原先生なんか、サッカーワール  
 ドカップのイタリアの審判の人にソッ  
 クリなんでもん。あはは。

でも、まあいいや。「五観の偈」つ  
 ても教えてもらったし、とにかく楽  
 しい二泊三日デシタ。おわり  
 おことわり

S・Kくんは架空の人物です。

## 楽しかったサマーセミナー

原田 利生子(小3)

わたしは、きょ年はじめてサマーセ  
 ミナーに、さんかして、楽しかったので、  
 今年もさんかしました。

わたしは、しんかんせんや、でん車  
 で行きました。なやちゃんと、しょう  
 子ちゃんといきました。

わたしは、「だれとグループになる  
 のかな？と、ドキドキしながらも入り  
 ました。

楽しかったことは、プールとゲーム  
 とマジックです。プールは、ウォータ  
 ーすべり台やながれるプールもとても  
 楽しかったです。

ゲームはいろいろおしえてもらった  
 りしてあそんだりして楽しくて、中で  
 一番楽しかったのは、外でいろいろな  
 ものを拾ってダンボールの上に色紙を  
 はって、わたしは、「これを夏休みの  
 工作にしよう！」と、はりきって作っ  
 ても楽しかったです。

そして、マジックはふく話じゅつの  
 ブリちゃんを楽しかったし、マジック  
 もすぐくてびつくりしました。

ぎぜんるとき、たたかれるかと思っ  
 てドキドキしました。でも、じつとす

わっているとお心がおちつきました。

ひろ先生のお話は、おもしろいけど、  
 わからないところもありました。私の家に、  
 先生の本がたくさんあるので、すこし  
 ずつ読んでいこうと思います。らい年  
 もいこうと思います。



## 寺修行に参加して思ったこと

宮崎 寛大(小4)

ぼくは、寺修行に行くということは、  
 どうゆうものかと思つて参加しました。  
 大ぜいの同じくらいの年の人がたく  
 さんきていました。

ぼくもちゃんとできるかなあとふあ  
 んでした。

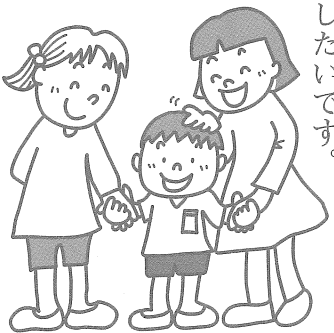
ひろ先生の話聞いてとても勉強に  
 なりました。

プールに行ったのは何回もあるけれど、  
 あんなプールは始めてでした。

ぼくは、坐禅の組み方がわからなか  
 ったけど、坐禅をするときに教えてく  
 れました。

家に帰っておばあさんやおじいさん  
 に、はんにやしんぎようを言つてあ  
 げたらおばあさんが「上手じゃなあ」  
 といってくれました。

来年も参加したいです。



# 禅をきく会

鳥取

## 禅をきく会におもう

私がこの会のことを知ったのはいつのことだっただろうか。東京は有楽町のホールで椅子に腰掛けたまま行う坐禅の実践と、禅僧によるその内面性の解説というのがそのときの内容だったと記憶している。仕事帰りのサラリーマンや街行く人たちにチラシを配り、一般の人々に「禅」を拡めて行こうとする画期的な会だと思った。

鳥取県でこの会が開催されるのは五回目であるが、そのうちの三度に私は教化主事という立場で関わってきた。前回米子市での開催時は、曹洞宗檀信徒以外の人々をターゲットにして新聞広告などで色々とPR活動をしたものの、残念ながら入場者は定員にはるかに及ばなかった。その反省から今回は檀信徒研修会を併設し、教区毎に目標数を設定す

瑞仙寺住職 長曾 龍生

をお寺だけに閉じ込めずに、多少の批判は覚悟の上で大衆化、一般化するべく、積極的に街に打って出たところに最大の意義があるのではないだろうか。会のねらいや在り方を本当に生かす形で開催しなければというのが一つの反省点として残されたような気がする。



るというやり方で、参加者の数を入念に調整し、講師大山のぶ代氏の知名度も手伝って「倉吉未来中心」の大ホールはみごとに満員となった。大山のぶ代氏の軽妙な語りは、その内容とともに絶賛を浴びたし、地元合唱団のさわやかな歌声も大好評であった。松原統監老師の禅話も素晴らしくそして力強いものであった。まずは大成功といってよいと思う。

けれども私としてはなにか手放しで喜べない、心のどこかに何かが違うという思いが抜けなかった。大都会と違って地方都市レベルでは不特定多数の人々を集めるということは至難の技である。現実には曹洞宗の檀信徒でさえほとんどは禅を良く知らないのだからまあこれでもいいか、とも思ったりする。けれども「禅をきく会」はやはり、「禅」

# 禅をきく会

岡山

## 禅をきく会に参加して

東林寺住職 越海 暢芳

平成十四年度「禅をきく会」は十月十一日、高梁文化交流館（岡山県高梁市）におきまして多数の参加者により行われました。

このたびの「禅をきく会」は、道元禅師七百五十回大遠忌奉讃ということもあり、禅話は「宝蔵を聞く―坐禅に学ぶ―」でした。松原徹心（中国管区教化センター統監）老師より道元禅師の生い立ちが、諄諄と説かれましたこと、誠に有難く思います。

また、引き続いて行なわれた椅子での坐禅は、短い間ではありましたが、その有難さが一層深まる一息一息でありました。

榎本勝起先生（TBS元部長アナウンサー）の講演は、鮮やかなスーツ姿で颯爽と登場され「爆笑と感動の仏教学」と題されたお話で豊富な

話題を声色も交えて縦横無尽に語られ、その様子に会場の雰囲気は一変。笑いあり、頷きありで、大いに学びさせて頂きました。

そして、岡山県曹洞宗青年会による演劇『一休さん』は、大道具、小道具、音楽、照明、台詞にナレーション、それぞれに工夫され、丹念に演じられておりました。

禅話から講演への取り次ぎとしての役向きを十分に果たす味わいがあったと思います。

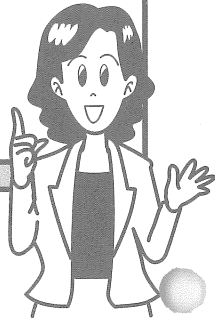
大遠忌奉讃として、善き会に参加させて頂き、有難うございました。



# 曹洞宗婦人会 中国管区 研修会に 参加して

島根県第二宗務所  
法眼寺 寺族

伊藤 美智子



十月三十日・三十一日の両日、懸念された足元も抜けるような碧さの空の下、中国管区婦人会研修会が開催された。センター・各宗務所・役員の皆様のためまぬ御努力のお陰で、四百名の大集合となり、一畑ホテルは、とりどりの色に華やいだ。地元スタッフの皆様は、前々から骨身惜しまず、会合を重ねられ本日を迎えた。折角ここ松江にお越しになる会員の皆様をお迎えしようと手作りのプラカードを両手に立て、会場へとお誘いした。又出会えた喜び、ひ

ろげよう・信じよう・美しい心のふれあい“のキャッチフレーズを共にする喜び、暫らく楽しい時が流れる。やがて日程通り会が進みよいよ橋凡子さんの講演にいたく感銘をうけた。核家族とか、時代が違うとか、呆然とする世情の中、アルツハイマーのお姑さんを、手の届く所迄、介護なさった事は、姑嫁共々に幸せだったかと思う。なかなか出来ない介護を心置きなく全うされた凡子さんは、未だ若く、ピチピチと社会に向けて活躍されているのも、その介護のお陰かとさえ思われる。気に掛かっていた活動報告も第一教区では、発会に当たっての苦労。第八教区では、発会後の苦労を切々と話され、わが第三教区、法眼寺は昭和五十五年より歩んで来た二十四年間の道程を報告する。



純稔

まず岡崎の手彫りの水子地藏尊に始まり、料理教室、坐禅と朝茶・朝粥の会は、共に十三年目を迎える。詠讃歌も、世代交替の中、それなりに、昭和三十六年より唱え続け、限りなく愛し、生き甲斐を覚え乍ら参加している。

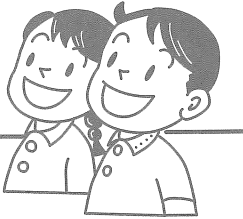
靈場参拝は、地元にはじまり、中国・関西・四国八十八ヶ所靈場参拝を満願成就し、今でも一つ一つ思い出が甦り、人生の大きな糧と懐かしんでいる。お茶・お花も一日旅行も楽しみにしている。何れにしても細く長く続ける事に意味を持ち、発会のむずかしさも領き乍らも世情を踏まえつつ、婦人の力に目覚め、よいものを産み出し、精進を重ねてゆきたく念じている。

ひろげつつたづさへゆかなこの道を限りの命日々守られて

# 青少年教化指導者 研修会に参加して

島根県第二宗務所  
豊龍寺副住職

野村 泰道



去る五月十五・十六日に松江市に於いて、青少年指導者研修会があり、中国五県から三十余名が参加した。オリエンテーションに続き、松原徹心老師の「青少年教化の役割」についてのお話を聞いた。老師は、「坐臥に拘わらず、という意味は、坐禅を身につけること」と檄を飛ばされた。青少年教化員が教化にあたり、常に正法に適った言行の必要を説かれた。また、自らが教化の機会を作

ることができる必要であると語られた。次ぎに菅野泰蔵先生の「相手に届く言葉」の講義を二日間にあたり受けた。菅野先生は相手に対して否定的な表現から、肯定的な表現に変換



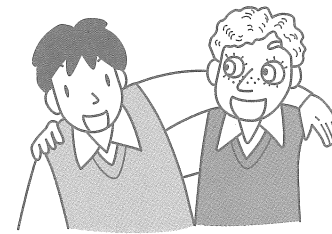
させる「リフレーミング」による視点の変え方を指導された。これはコミュニケーションをとる場合、まず相手を受け入れる姿勢が必要で、その為には相手に対する見方を変える

ことが必要であるとのことだ。又、カウンセリングの基本である、相手に変化を促す為に行う視聴やロールテイキングの効果を、体験談を交えながらお話下さった。

特に印象深かったのは、話すよりはむしろ聴くことが重要で、「答える」ではなく「応える」ことこそが、コミュニケーションをより充実させると言われたことだった。

人権学習は、寛弘伸先生の「『同和問題解決』考」であった。寛先生は同和問題に対する認識は、近年ようやく高まりつつある。しかし、今だからこそ更に積極的な姿勢が問われている、とおっしゃった。

二日間という限られた時間ではあったが、充実した内容で行われたことに感謝したい。





## 中国管区教化センター平成15年度行事予定

4月14日～15日	全国教化センター役職員連絡協議会
4月24日	教化センター企画委員会
5月12日～13日	人権三者協議会
5月	教化センター布教師協議会 曹洞宗婦人会中国管区役員会
6月9日～10日	青少年教化指導者研修会(山口)
7月2日～3日	管区役職員人権学習会(山口)
7月28日～30日	第19回親子ゼンインサマーセミナー(鳥取・大山)
9月8日～9日	布教協議会・講習会(岡山)
9月16日～17日	曹洞宗婦人会中国管区研修会(岡山)
10月24日	教化センター運営・企画委員会
10月29日	布教師特設検定(四国)
11月10日	中国管区集会
11月21日	禅をさく会 島根第2
11月27日	禅をさく会 山口
11月	全国教化センター役職員連絡協議会
H16年1月	教化センターだより 20号編集会議
2月	布教委員長会議
2月	島根県布教講習会

## 【センター布教師】

岡山	6教区 179番	長安寺	久保孝道	〒708-0045 津山市西寺町52	☎(0868)22-6878
広島	3教区 58番	宗光寺	垣井龍顕	〒723-0062 三原市本町3-11-1	☎(0848)62-4719
山口	2教区 37番	安養寺	渡辺勝人	〒747-0825 防府市新田古前1246	☎(0835)22-1865
山口	3教区 72番	真福寺	大野恭史	〒746-0062 周南市福川中市町6-27	☎(0834)62-2760
鳥取	7教区 151番	安国寺	森下慈孝	〒683-0831 米子市寺町50	☎(0859)22-3836
島根Ⅰ	1教区 236番	宝隆寺	和田善明	〒699-2302 瀬摩郡仁摩町宅野町1355	☎(0854)88-2790
島根Ⅱ	9教区 187番	養善寺	西古孝道	〒699-1343 大原郡木次町湯村900	☎(0854)48-0371

## 【センター役職員】

統監	松原徹心	光善寺	山口県宇部市西琴芝2-1-46	☎(0836)21-5465
主監	村上邦雄	摩訶衍寺	〒722-0202 広島県尾道市原田町梶山田4338	☎(0848)38-0656
賛事	宇田治徳	雙照院内	〒723-0045 広島県三原市田野浦3-2-17	☎(0848)62-4550
賛事	藏重宏昭	玄濟寺内	〒753-0811 山口県山口市吉敷1584	☎(083)922-4560